

北九州市立中尾小学校
学校だより
令和6年4月12日号
校長 上赤義人

学校教育目標
すこやかに、 おおらかに、
たくましく伸びる児童の育成

はじめまして

大切にしたい「感謝」と「自立」

令和6年4月より、本校に着任しました、校長の上赤義人(かみあか よとひと)です。よろしくお願ひいたします。

始業期や入学式において、子どもたちに右のような話をしました。

子どもたちは、真剣な態度でしっかりと話を聴くことができていました。こんな子どもたちに出会えたことの喜びを感じるとともに、これからの子どもたちの成長について、学校としての責任の重さを感じました。

「感謝」について

何事においても、感謝の気持ちは大切です。人はどんな時も人からサポートを受けているものです。そのことに気づかなければ感謝の気持ちは芽生えてきません。感謝の気持ちに気づけないのは、それを当たり前のことと思っているからではないでしょうか。学校生活の様々な機会をとらえ、子どもたち一人一人に感謝について考えさせながら、感謝の心をベースに、思いやり・礼儀・寛容・家族愛・国際理解などの道徳的な心情を育ていきます。

「自立」について

朝は自分で起きる、学校の準備は自分でするなど、生活習慣的なことが自分でできるという自立はとても大切です。ただこれだけではなく、自分がやりたいことを、自分で見つけて、自分でどんどんやっていくという、自己実現力としての自立を意識してもらいたいです。「自分がやりたいこと」を「自分で見つける」ことができるよう学校生活の中で様々な機会を作り出していきます。

子どもたちに「感謝」や「自立」の心を身につけさせることは、学校だけでは難しく、各ご家庭においてもご理解とご協力をお願いいたします。

<始業式や入学式での話>

これから、みなさんと学校生活を一緒に過ごしていくことで、私から2つ「こういう人になってもらいたい」という話をしておきます。

まず一つめは、「感謝」できる人(素直にありがとうと言える人)になるということです。

「ありがとう」の

- あ (当たり前のことにも感謝しよう)
- り (立派な感謝の言葉が言える人になろう)
- が (頑張りを支えてくれた人に感謝しよう)
- と (特別な日だけでなく、毎日何かに感謝できる人になろう)
- う (うれしい時こそ感謝の心をもとう)

1年生から6年生になるにつれて、「ありがとうと言う人(=感謝できる人)」から「ありがとうと言われる人(=感謝される人)」に成長してください。

二つめは、「自立」した人になってほしいということです。

「じりつ」の

- じ (自分のことは自分でしよう)
- り (リアルな現実の中でも夢をもとう)
- つ (積み上げていこう夢や目標に向かって)

1年生から6年生になるにつれて、「自分ことは自分でする人」から「自分のやりたいこと(将来の夢)を見つける人」そして「自分のやりたいこと(将来の夢)のために今を頑張る人」に成長してください。



入学式での6年生の学校紹介や校歌紹介は素晴らしかったです。さすが6年生です。

学校は、保護者の皆様や地域の方々に支えられていることに感謝しながら、これからも子どもたちの成長を教職員一丸となって全力で支えていきます。何かお気づきのことがありましたら、いつでもご連絡(☎613-3261)ください。